



2005年春号  
季刊 No.79

〒214 0034 川崎市多摩区三田二一五-13  
TEL 044-931-2425 FAX 931-2444  
コスモスの家

- ④ 支援費制度（障害者制度）との統合
- ⑤ 軽介護者（要支援・要介護1）に対する利用制限などです。

①の負担増については、現在ひとり月三三〇〇円の介護保険料（65歳以上の全国平均額）が平成18年に四三〇〇円に、平成24年度には六〇〇〇円になるという試算が厚生労働省でなされました。8年後には今より8割増しになる試算です。

平成17年に入り、介護保険制度の見直しが本格化してきました。  
今回の見直し作業の特徴は、利用者や家族の暮らしの現実から出発し、その暮らしを改善するために議論しているのではなく、国の財政再建を主たる目的とした結果・財界主導の見直し作業である点です。

- ① 利用料（現行一割）の2〜3割負担への引き上げ
- ② 施設入所者からホテルコスト（家賃・光熱費）や食費を徴収
- ③ 保険料負担年齢（現行40歳）引き下げ



②は施設の居住費や食費を介護保険給付対象からはずして入所者負担にするというものです。個室では13万円以上、相部屋でも8万円以上の負担となります。  
介護保険事業のデイサービスでも、10月から食事加算が個人負担となる方向



⑤の軽介護者に対する利用制限の問題は、

「コスモスの家」利用者にとって最も切実です。居宅サービス利用者の5〜6割は軽介護者であり、この方たちはホームヘルパーやデイサービスなどを利用することによって在宅生活を維持しているのです。

しかし、現在の見直しの方向ではこれらのサービスの利用を制限し、介護状態になることを防止するための「新・予防給付」に切り替えようとしています。

訪問介護で言えば、「家事代行型（生活援助型）」は「原則廃止」ということになっています。「新・予防給付」については筋肉トレーニング、転倒予防、低栄養予防や口腔ケアなどのメニューが上げられています。

確かに予防事業は高齢化が進む中で重要な問題です。しかし、それは、介護サービスが

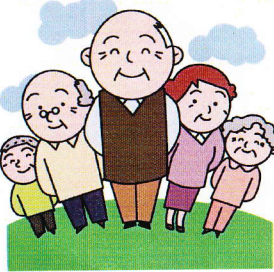
予防サービスか「あれか、これか」の課題ではなく、まさに介護サービスの充実と予防給付の連携こそが住み慣れた地域で機能を維持しながら、安心して在宅生活を維持していくことを可能にしているのです。

## ★予防アセスメント表の問題点

厚生労働省は「軽度要介護者」への「新・予防給付」とそのための「介護予防アセスメント」の導入を提案しています。

根本的な問題点は、アセスメントが外見的に識別しやすい身体機能に傾斜し、介護において欠かすことの出来ない病像、生活像（生活習慣・生活文化）、社会像（所得・介護者・住宅など）、さらにコミュニケーションをはじめとした内面多岐な生涯発達要求への働きかけが無視されたアセスメントであるということです。

「コスモスの家」の利用者は大半が軽度要介護者ですから、このアセスメント表で判定されるようになると、デイサービス利用やホームヘルパー利用権を取り上げられる方が出てくる可能性が高いのです。

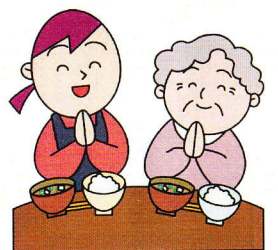


## 利用者Tさん（87歳）のケース

Tさんは、坂の中腹の一軒家に一人暮らし。現在、介護認定は要支援で、週に一度のデイサービスとホームヘルパーが週に一回買い物などをしていきますが、自宅から買い物や病院駅に行こうと思っても坂を上って下らなければならず、一人では、無理なのです。

厚生省がモデルとして試行的に実施している「介護予防アセスメント表」で、日常動作が「できる」「できない」という判断だけはこのTさんを選別すると、ほとんどのことは「できる」となり、現状の介護サービスを減らされる可能性が高いのです。しかし、実際の生活から見れば、坂に囲まれた住宅に住み、デイサービスも送迎車があるからこそ通え、そこで仲間たちとのふれあいが心身に刺激と生きがいを感じさせて元気を保っているとも言えるのです。そのTさんから楽しみにしているデイサービスやホームヘルパーの利用を取り上げてしまったら、その精神的ショックから急激に身体機能まで落ち込んでしまう危険性もあるのです。そうなれば、予防どころか、かえって介護度を早く上げることになり

ます。今回の見直しの狙いは、住み慣れた地域で機能を維持しながら安心して生活したいと介護サービスを利用しているこの人々のサービス利用を制限し、介護給付の伸びを抑えることにあると思わざるを得ません。特に介護度が軽い「要支援」「要介護1」の人たちに対する利用制限については、在宅で生活する高齢者やその家族、介護の現場で働く私たちの中にも不安が広がっています。



## ★国や自治体へ具体的な見直しの提案を！

すべての人々が住み慣れたまちでいつまでも安心して暮らすことの出来るまちづくりも安心して暮らすことの出来るまちづくりも人権と福祉のまちづくりを推進するためにも「負担増と給付抑制」が主の介護保険見直しではなく、「老後の安心を託すことの出来る」夢のある介護保険見直しを地域住民の側から組織し、地方自治体や国に提案していく必要があります。小地域、小学校区を単位とするエリアに責任を持つ地域福祉計画として具体的に提案していくことが地方自治体との協働を可能にし、それが国を動かす力へと発展していくと考えています。



# コスモスの家の 講師の先生 ②

コスモスの家の講師の先生

生を紹介するシリーズ第2弾！今回は俳句の小島先生です！本名は小島章司さん。俳号は「禾汀」<sup>かてい</sup>。禾は稲のこと。「渚に生えている草」という意味なのだそうです。

「禾汀」は祖父の俳号なんです。父も俳句をやっています。正式には「清月庵 禾汀」と言います。親子3代で俳句をやっているんです。私自身は昭和34年からはじめました。

祖父は愛媛の松山出身で、正岡子規と同年代なんです。私自身は静岡で生まれましたけど。実を言うと、はじめは俳句に興味を持って



小島 禾汀 (かてい) 先生

なかったのですけれどね、やっぱり血なんでしょうかね。」  
コスモスの家のお付き合いは長く、まだコスモスの家が西三田団地でミニデイサービ



スをしていた頃からなので10年位でしょうか。

小島先生が、多摩区社会福祉協議会の館長だった時コスモスの家代表の渡辺が同協議会の理事だったことから先生がコスモスの家の俳句の講師を引き受けてくださいました。

「コスモスの家の利用者の方々はとても真面目な方ばかりです。季節の移り変わりにとても敏感で俳句の中にそれがよく現れています。レベルも高いですよ。この三田のまちやその周辺の環境がいいのではないのでしょうか。ここは樹木や花がたくさんあって四季の移り変わりがとてもよくわかります。みなさんの俳句を詠んでいるとそれがわかります。なによりスタッフと利用者の方とのコミユニケーションがよく取れていると思います。双方とも『俳句に親しもう』という態度があつて、私も講師をしていて楽しいです。

デイサービスは、利用者の方々を飽きさせないといけないし、かといって張り切りすぎて疲れてしまってもいけない、とても難しいお仕事だと思えます。でも、コスモスの家は私が見ている限り、みなさんとても楽しんでいらつしやいますと思えます。いつも私をアシストしてくれる赤池さん（コスモスの家デイサービス責任者）は美声で、明るくて、あ、もちろん美人で（笑）私はとても助かっています。」と笑顔で答えてくださいました。小島先生はお忙しい方で、コスモスの家のほかに「つはの会」「千年会」「三田の会」などで俳句の指導をいらつしやいます。正直、コスモスの家では、ボランティアに近い形で先生に来ていただいています、先生はめったにお休みになりません。

小島先生、これからもコスモスの家をよろしくお願ひいたします。

\*次回は朗読の今野鶏三先生を予定しています。



スタッフ赤池

美人で美声の持ち主と噂の赤池ですが、今回は後姿で勤弁してください！



有馬コスモスの家だより

桜・満開

コスモスの家のお花見にあわせたように、久しぶりの快晴の朝。

「開花情報をもとに1週間延期してラッキー」とスタッフ一同喜びました。午前11時に出発

し、まず最初に鷺沼公園の桜、「たまプラーザ」の桜並木、さらに運転手さんの好意で「あざみの2丁目」の桜ロードまで行きました。

見事な桜に利用者の方も感嘆の声、自然に「さくら、さくら」の歌が流れました。

最後に近くの上橋南公園の満開の桜の下



余りにも美しければ  
どこ迄も果てしなくつづ  
け  
花のトンネルを満喫し

で甘いココアなどを飲み、お花見を満喫して帰りました。お昼はスタッフの成川さんの奮闘で朝汁、おひたし、デザート等の毎年好評のちらし寿司を楽しんでいただきました。



有馬コスモスの家だより

お礼の会



有馬小2年生が一年間の交流を通して昔あそびや給食交流ペーパーマッシュづくり等、感謝の気持ちを「お礼の会」として招いてくれました。

曜日ごと同じクラスの子供たちが関わってきたのでお互いにも名前も覚え、親睦を深めることができ、喜んで頂けました。これからも続けていきたいと担任の先生校長先生、教頭先生にまでお願いした



けたことはなによりです。「有馬コスモスの家」は小学校の空き教室を利用したふれあい型デイサービスが特徴です。こうした小学生との触れ合い、異世代交流が出来る

ことは、核家族が進む中、子供たちにとって高年齢の方にとってもお互いに関わることなのではないかと思えます。これからも、ぜひ、

いろいろな形で交流を深めていきたいと思えます。

